



ゴロスケ報々



これから1年間の表紙絵は、「森の絵本づくりの会」の絵本からのものです。楽しみにしてくださいね。

●森を守る作業体験「間伐体験」●

友の会行事のお知らせ

間伐体験

日時：7月26日 10時～12時

募集人員：10名 先着順 締切 7月19日

申し込み方法：参加者の氏名 電話番号を記入の上 FAX 045-894-8892(観察の森)

または E-Mail: kansatsunomori@gmail.com まで

持ち物、服装：森を歩けるような 服装と靴、帽子、軍手、タオル、昼食、飲み物

雨天、荒天時：中止

雑木林ファンクラブ (ZFC)

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●5月理事会報告●

日時 2014年5月18日(日) 9:40~11:55

出席者 青木、落合、大浦、関根、中里、村松、山口、吉田、古南 R

(文書参加:志釜)(欠席:秋元、漆原、片岡、中塚)

1 役員・担当理事互選(総会時に報告済・再確認)

| | |
|-----------|-------|
| 会長・編集 | 山口 |
| 副会長 | 村松、大浦 |
| 会計 | 青木 |
| 事務局長 | 中里 |
| 会員交流行事 | 片岡 |
| 会員名簿管理 | 漆原 |
| ネットワーク | 秋元 |
| 書記・ホームページ | 関根 |
| 安全管理 | 中塚 |

2 年間スケジュール

・理事会: 11/16 中間報告・次年度方針、1/18 次年度事業計画、3/15 総会準備他

3 会費細則改定

・「早期入会促進会費」(年度途中入会の会費振込通知が1月以降の場合は翌年度分とし、入会年度の会費も支払われたと見なすことで、翌年度まで待機することなく早期に活動が開始されるよう促すための割引会費)の会費細則への追加が了承されました。今年度分から適用となります。

4 新入会員フォローについて

・定例会で各PJ等の新メンバーを報告し、その他入会会員の状況も共有することが確認されました。

5 利用推進会議(7月6日15~17時予定)

・予定議題: 年度報告・計画、その他 (保安全管理懇談会13~15時)

6 安全管理

・小学生の行事参加対応、保護者への説明、PJ活動見学対応時の安全管理について確認しました。

7 その他

・区民活動センター団体登録、友の会活動プロフィール集、森ボラマニュアル改訂、ボラまつり実施要項、友の会主催行事の参加申込(メールアドレス統一等)、行事保険(中止報告、追加提案、参加者名簿様式)などを確認しました。

<次回理事会開催のお知らせ>

| | |
|----|---|
| 日時 | 11月16日(日) 9:30~12:00 |
| 場所 | 自然観察センター研修室 |
| 議題 | 1 中間報告・次年度方針 2 利用推進会議(後期) 3 安全管理 4 その他 |

●5月定例会報告●

日時 2014. 5. 18 (日) 13:00~14:40

出席者 山口、村松 (議長)、大浦、中里、青木、関根 (書記)、落合、吉田、篠原、高橋、古南R

議事

1. 各PJ、調査グループの活動報告 (4月~5月) をしました。
2. 各PJ、調査グループの活動予定 (6月~8月) を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・午前中の理事会の報告をしました。
 - ・定点カメラで動物調査グループの責任者が、藤田さんから渡部さんにかわりました。
 - ・ゴロ報6月号から電子版の配信が始まります。
5. センターより
 - ・4月の「森を守るボランティア体験」は、参加者6名。うち1名が入会しました。
 - ・立ち枯れた樹木の伐採工事が始まります。通行にご注意ください。
 - ・6月14, 21, 28日 (いずれも土曜日) ホタルの観察会を実施します。
友の会会員の皆様の、お手伝いをお願いします。(瀧本Rまで)
 - ・研修室の利用を希望される方は、早めにレンジャーまで連絡してください。

以上、よろしくお願ひします。

横浜自然観察の森友の会 事務局

次回定例会は
7月20日 (日) 13:00~
研修室にて
※定例会は会員の皆様どなたで
も参加できます。

定例行事のお知らせ

●畑と作物を作ろう●

畑プロジェクトは狭くても畑のある里山を作りたいと考えています。その為に、無農薬・無肥料 (落ち葉や腐葉土は使います) で昔ながらの在来種や固定種と呼ばれる野菜を、できるだけ自分たちで採った種から育てようとしています。また畑の周囲に、数十年前のように春蘭やエビネが育ち、畑に落ち葉や腐葉土を供給できる雑木林を作ろうとしています。

月に一度そのような畑と作物をみんなで一緒に作りませんか。その活動を通して今まで気づかなかった自然に触れ、変化を感じることはとても楽しいことです。活動日にふらっと観察の森の畑にお越しください。

活動日: 8月を除く第3土曜日。10時~12時。雨天中止。

7月19日 (土) タマネギ収穫と採種。除草など。

9月20日 (土) ササゲ収穫、菜の花・春菊の種まきなど。

10月18日 (土) エゴマ収穫、麦の種まきなど。

11月以降の第3土曜日は、主として落ち葉集めや雑木林の手入れを行います。

対象: どなたでも ただし、小学生以下は父兄同伴のこと

受付: 自然観察センター前にて

持ち物: 飲み物、長袖・長ズボン、帽子、手袋、タオル、昼食

担当: 畑プロジェクト

退屈な数字から見えてくるもの

ゴロスケ報々第 155 号（前号 4 月号）の総会報告のページに数字が並んでいます。たまたま手元ですぐに取り出せる古いデータで 2005 年度の総会資料があったので少し比べてみましょう。

| | 行事（ネットワーク、会議等含む） | PJ活動（事務局事務除く） |
|---------|---------------------|---------------------|
| 2005 年度 | 26 項目・77 回・748 人 | 13 項目・248 回・1,379 人 |
| 2013 年度 | 32 項目・206 回・2,928 人 | 38 項目・430 回・2,591 人 |

いかがですか？ 8 年間で、ほぼ倍増です。数字の拾い方に差があるにしても、いかに充実してきているか、よくわかると思います。子どもの成長と同じで、毎日一緒にいると気がつきにくいのですが、たまにしか会わないと急に大きくなっていてビックリ、みたいな感じでしょうか。この数字、そう簡単には真似できませんよ。日々の積み重ね、一人ひとりの頑張りが、こんなところにも表われているんだと思います。すごいですね。

ちなみに、自分が知っているいろんな団体と比べてみると、こんな感じです。

| | (表記ない場合は 2013 年度。人数は延べ参加・活動人数) |
|-----------------------|---|
| 友の会（事務局事務含む総計） | 74 項目・678 回・会員 3,656 人・一般 1,958 人 |
| しらかしのいえボラ協 | 52 項目・606 回・ボラ 2,388 人・一般 1,957 人 |
| 光丘中学校 P T A（2012 年度） | 85 項目・343 回・2,330 人（846 世帯） |
| 文ヶ岡小学校 P T A（2011 年度） | 79 項目・326 回・2,535 人（266 世帯） |
| 自治会（数年前の概数） | 47 項目・227 回・1,065 人（749 世帯） |
| 桜森コミセン管理運営委員会 | 47 項目・87 回・2,048 人（行事参加者含む） |
| 中学校区家庭・地域教育活性化会議 | 16 項目・36 回・中学生ボラ 100 人・383 人 (構成 38 団体 64 名) |

友の会はやっぱりスゴイですね。大和市自然観察センター・しらかしのいえ（YNC）ボランティア協議会（通称ボラ協：2013 年度 101 名、今期更新時点 86 名）に対しては一般参加者数が僅差！となっているものの、全ての数値で上回っています。友の会の会員数は 2013 年度 140 名（今期更新時点 120 名、内 PJ 等所属が 100 名）、ピーク時の 1993 年は 439 名（94、96、97 年度は 400 人超）でしたので、現在は保全活動会員中心の非常に密度の高い筋肉質な活動状況と言えそうです。（あ、この中で会長の活動回数が一番少ない＝高度に役割分担が進化しているのも友の会の特徴です。自治会長は 200 回、小学校 PTA 会長は 120 回、中学校 PTA 会長は 80 回、ですからね。長年の積み重ねが大切です。）

不思議なことに、なんとなく「停滞してるんじゃない？」とか言ってしまうがちですが、数字を見る限りでは決してそんなことはなく、ますます活発な会なのです。皆さん、自信をもって、無理せず、楽しく活動しましょうね。それから、大和に負けないよう、行事にはどんどん参加して、活動したら必ず定例会メモに載せて数字を総会資料に反映させましょうね。（やまひょん でした。）

●トンボ池を掘ろう 報告●

5月11日(日)
スタッフ3名 参加者0名

毎年のトンボ池の掘り上げは、今年も五月晴れに恵まれました。
今年は池に水が残っているだけでは無く、ヤマアカガエルのオタマジャクシが多く見られ、慎重な掘り上げ作業となりました。
周囲を飛び回るハラビロトンボを横目に汗を流したスタッフ、応援のレンジャーの皆さん、お疲れ様でした。

担当 カワセミファンクラブ(KFC) 大浦

●森を守る作業体験「子供と遊ぼう会」 報告●

森を守るボランティア体験 5月17日

‘子供たち集まれ’

五月晴れの下 4家族 9人の参加がありました。まず火の神様に よい炭がやけますようにとお願いして 炭焼き窯に火入れをしました。子供たちは慣れない裸火をこわごわ見ていましたが 慣れてくると 火をたしてくれました。次に ZFCで作った 火起こし道具を使って 火をおこしに挑戦です。お父さんたちが奮闘して 火が起き歓声がおこりました。ホダギに椎茸菌を植え付けました。このホダギに名札をつけ森にすえつけました。 2年後のシイタケの収穫に皆さんきてください。コースターも作りました。外で食べた昼食と味噌汁も美味しかった。またきてねー

雑木林ファンクラブ(ZFC)

●<定例行事の報告> 森の絵本を楽しもう●

20年目になりました。

森の絵本づくりの会は立ち上げてから20年目を迎えました。始まりはハンミョウの会の内藤さんという方が平日を活動日とし、雨の日に室内で自然案内ができるものはないかと考えました。そこで絵本を自分たちで作って、センターに来た人に読んでもらうことにしました。絵本を通して生き物や自然に興味や親しみを持ってもらうきっかけになればいいなと静かに活動を続けてきました。

この20年目という節目の年に4月20日(日)の“森のボランティア体験”ー絵本の中の森を歩こうーを担当したことは感慨深いことでした。今まではハンミョウのグループだったこともあり、ハンミョウの会さんや遊ぼうさんの後ろからついて行っていました。始めて単独で参加者をお迎えしたのです。

森を案内するにあたり絵本“はるのいちにち”の読み聞かせをしました。道案内のツマキチョウに会えるといいですねと言って歩き始めました。ハイケボタルの湿地ではオタマジャクシを手にとって見てもらいました。なんだか参加者より私たちの方が興奮した場面かもしれません。下見のときよりオタマジャクシがいっぱいいたからです。畑や炭小屋を案内したあと桜林で再び同じ絵本“はるのいちにち”を読みました。それから参加者2名にも読んでもらいました。感想をお聞きすると森の中を歩く前と後では感じ方が違うと話されました。ヤッターと思いました。生の声を聞いた貴重な体験になりました。

この20年で今製作中の絵本を含めて10冊になります。私たちのゆっくりペースの活動を見守ってくださった友の会とレンジャーのみなさんに感謝でいっぱいです。そしてなによりも森の不思議や感動を共有しながら活動をしてきたメンバーに感謝です。

森の絵本づくりの会 しかま

保安全管理計画のフォローアップ

報告 保安全管理の検討会 (第1回)

5月10日(土) 13:00~15:00

○出席者(11人) 友の会 上原明子さん・落合道夫さん・片岡章さん・
篠原由紀子さん・橋詰斉さん・藤原功さん・吉田賢一さん
横浜市みどりアップ推進課 大浦康史さん(新任)・井上雅人さん
レンジャー 古南幸弘・赤星稔

○内容 1. 桜林の保安全管理実施計画の報告 2. 今年度の予定 3. 桜林の植生調査

昨年度の保安全管理計画のフォローアップ事業、「桜林の検討会」では、友の会の皆さんにご参加いただき、「桜林の保安全管理実施計画」をつくりました。今年度は枠を広げて、桜林の保安全管理の実施にあたってモニタリング調査をしていくとともに、炭小屋うらのスギ・ヒノキ林など、「雑木林管理ゾーン」の他の管理区についても、作業の方針を話し合ったり、調査を実施したりしていきます。

この日は桜林の実施計画についてレンジャーからご報告した後、今年度のスケジュールとやることを確認しました。その後、桜林で、管理作業実施に向けた植生調査として、低木の種類を調べ、111本の低木に番号をつけました。また刈り取ってはいけない植物に黄色と青のマーキングをしました。

林や草地の管理に興味のある方、かんたんな調査に参加してみたい方は、ぜひ次回以降ご参加ください。

○今後の開催日程(いずれも午後) 7/5(土) 8/2(土) 下記参照
10/4(土) 桜林の植生調査(秋) 12/13(土) 冬季の伐採計画の確認
2/7(土) 勉強会(植生またはシダ類を予定)

今後の予定 ★保安全管理の検討会★

第2回 7月5日(土) 13:00~15:00 研修室にて

桜林の初夏の植生調査を行います。また夏の草刈の計画を検討します。

第3回(勉強会) 8月2日(土) 13:00~16:00(予定) 研修室にて

テーマ「クツワムシの生態を知ろう」(仮)

講師 清川 紘樹さん(東京大学大学院農学生命科学研究科 生物多様性科学研究室)

林縁の生きものの代表格として、鳴く虫(キリギリスやコオロギの仲間)をとりあげ、クツワムシを中心にその生態や調査・保護の方法について、新進気鋭の研究者にお話をうかがいます。

お申込み・詳しい内容のお問合せは、こみなみまでどうぞ。

★保安全管理懇談会★

前期 7月6日(日) 13:00~15:00 研修室にて

横浜市とレンジャーの行う管理作業(草刈や伐採など)や、補修工事の計画をご説明し、意見交換を行います。

資料の準備のための人数把握の都合で、上記にご出席される方は、できるだけ前々日までに古南、赤星までご連絡ください。ただしお申込みなしでも参加できます。(こみなみ)

主催行事のサポーターを募集中！



ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場

◆日時 6月21日(土)、28日(土) (雨天の場合は翌日)

紙芝居を使ってホタルの生態を解説し、観察マナーを啓発します。1晩で200人～500人の方が参観されます。紙芝居を読む以外にも、拍子木や観察場所への誘導など、様々な役割があります。

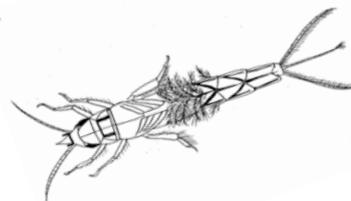
■イベント時間：19:00～20:00 ■集合：17時半 自然観察センター研修室 ■解散：20時過ぎ

■持ち物：軽い夜食・飲み物・長袖・長ズボン・運動靴

■雨天延期・中止の場合は、当日の担当レンジャーからご連絡いたします。

親子向け自然調査体験イベント「いきものを知る守るシリーズ」

小学生とその保護者が、生き物の調査や保護作業を体験するイベントです。



◆日時 7月27日(日)・8月9日(土) 8:30～15:00

「水辺のパトロール隊」…源流の水生生物しらべ (別々の参加者に対し同内容で2回行います)

サポーターの方の生き物の知識の多寡は問いません。主に安全管理についてご協力いただきます。きっと観察の森の新たな魅力を発見できるはずです。

9月以降：「草地のバッタパトロール隊」9/20(土) 10/11(土)

「林の鳥の巣パトロール隊」12/14(日) 1/17(土)

★以上についてお申込み・お問合せは、レンジャー瀧本までどうぞ E-mail: takimoto@wbsj.org

ホランエイワ

** 4/7～6/4 **

ありがとう

5/10 保安全管理の検討会にご出席いただいた皆さん：桜林の植生調査等(前ページ)

5/28 水上重人さん：ホタル調査補助

5/31 上原さん、馬男木嘉久さん、榎野淳一さん、水上さん(鳥のくらし発見隊)：4月から始まった新しい行事「親子でバードウォッチング」で、運営補助に参加していただきました。

雑木林ファンクラブの皆さん：間伐材を使って、展示用のコースターを製作していただきました。

6/3 雑木林ファンクラブの皆さん：冬のストーブのための薪をつくっていただきました。

5/7～6/4 カワセミファンクラブの皆さん 展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供

5/7～6/4 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん 自然情報のご提供

みなさん、ありがとうございました。



横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail: yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

イラスト 大久保香苗(タイトル)・瀧本宏昭・黒川マリア(ワズジモカガウ)

行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●森を守る作業体験「間伐体験」

7/26(土) 10:00～12:00
雨天中止

申込：必要。FAX、Eメールにて →1ページ参照
定員10名(先着順) 締切7/19
担当：雑木林ファンクラブ

●センター主催行事●

■【ホタル観察をご案内】「ゲンちゃん・ハイちゃん紙芝居劇場」【センター主催】

日時：6/21(土) 6/28(土) 19:00～20:00
(雨天の場合は翌日に延期)

集合場所：自然観察センター前
※ボランティアさん募集！ご興味のある方はレンジャー瀧本まで E-mail:takimoto@wbsj.org

■【水辺のいきものを調べ、守る体験をしよう！】 「生きものを知る守るシリーズ～水辺のいきものパトロール隊～」【センター主催】

日時：7/27(日)、8/9(土) 両日同内容 10:00～15:00
(雨天時はそれぞれ8/3、8/16に延期)

対象：小学生とその保護者 40名まで
申込：Eメール、FAX、往復はがきのいずれかでイベント名、日時、参加者の名前、お子様の年齢、電話番号、返信先、どこで本イベントを知ったかを書いて7/13(必着)までに申込み
※ボランティアさん募集！ご興味のある方はレンジャー瀧本まで E-mail:takimoto@wbsj.org

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～
せみのぬけがら探し 8/17(日)

9:30～14:00 雨天決行

受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2014年6月15日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yns_tomo/

E-mail:yns_jimu@yahoo.co.jp

この会報は、友の会ボランティアによって作られています。
全頁無断転載を禁じます。

●定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
7/6(日)・8/3(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査

7/12(土)・8/9(土)

5～10月 9:30～ 現地調査：会員対象
6～11月 11:00～ 写真チェック：どなたでも参加できます

雨天の場合、日程を変更する可能性あり。自然観察センターに確認のこと。

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。

活動日：5～11月の毎月第2土曜日の午前中

担当：事務局内グループ・定点カメラで動物調査

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

7/13(日)・8/10(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

7/16(水)・8/27(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

→5ページ参照

～生き物にあふれた畑を目指して～

7/19(土)・8月はお休み

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

6/28(土)・7/26(土)・8/23(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜